

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 放課後等デイサービス という

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		学習室と指導訓練室を区分して運営している。法令に遵守している。	教材等は必要に応じて出し入れし、スペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○		正規職員の確保とパート職員の確保を常に考えて対応している。	常時規定定数の配置をしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		日本家屋の借家の為、段差の大きなところは踏み台や手すりを設置調整している。	個々の状態に合わせた可視化を図り事故防止に努めていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		定期的または必要に応じて、研修実施。正職員は全員参加している。	研修を多く取り入れている。PDCA→SPDCAへとし、必要に応じて見直しをしている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		年1回の自己評価の活用や必要に応じて保護者アンケート調査を実施、または個別対応によって保護者の意向を把握している。	今年度より第三者委員による評価も行い、業務改善につなげている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	○		保護者や職員全員が評価を実施するようにしている。	自己評価の結果は、年1回必ずホームページにおいて公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者委員に各種委員会メンバーとして評価をしてもらっている。	今年度より評価をしてもらうように手配ができた。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		毎月課題を決め実施している。	定期的、計画的に実施していく。

適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		児童発達支援管理者からのアセスメント情報をもとに、職員全員で支援会議を行い、サービス計画を作成している。	現状に合わせて見直しをし、保護者や利用者のニーズに応じていきたい。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		標準化されたアセスメントツールを使用している。保護者から任意提出された情報や医療機関での発達検査も参考にしている。	年一回必ず実施するようにしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		現場の指導員の発案を元に職員総意の上決定している。	指導員を中心に検討し、総意により決定をしていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		教材研究を重視している。各職員が新教材を立案している。	日々の現れを見落とさないように観察と記録を大切にしていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		利用時間の長短を考え、計画をしている。長期休暇等でなければできない療育活動を取り入れている。	今後も支援内容を話し合い、整合性のある支援をしていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		一人ひとりの児童の特性にあった活動を計画している。特に感情にさゆうされやすい児童への対応もしている。	できる限り個人の意思決定を尊重していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼時、前日の振り返りと当日の流れを確認し、すべき業務の再認識をしている。随時変更が必要な場合も連携している。	教材研究に力を入れ、個別支援や集団支援に役立てていく。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		大まかな申し送りを行い、日誌に記載、職員連絡ノートに記載し共有している。	気づき等は個別記録や業務日誌、職員連絡帳に記載し、全職員が見られるようにもれなく記入することを継続する。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個別日誌を重視している。当日の様子を言葉も含め拾い出しをしている。常に振り返りをし、改善すべきことや対応の仕方を共有し、質の均一化をはかっている。	職員間の報告・連絡・相談を重視していく。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		職員全員で6ヶ月毎の見直しをしている。新規者は4ヶ月まで毎月実施し支援目標の見直しをしている。 期限に限らず、必要時にもモニタリングしている。	記録の徹底はもとより、申し送りも大切にしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		支援目標の中にも複数の基本的活動を組み入れている。	組み合わせの工夫をしていく。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		保護者、相談員、児発管、チームリーダーが参画している。	連携を密に図っていく。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○		年度初めに学校を訪問し、情報の共有を依頼している。	今後も学校や保護者との連携を図っていく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			該当なし	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		保護者から様子を聞き、必要に応じて対応を図っている。	できる限り情報を共有していきたい。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		必要に応じ支援内容等情報提供している。相談支援事業所が対応してくれるため、相談員とは密に連絡を取り合っている。	支援内容等の提供は利用者にとって大切なことであるから提供をしていきたい。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		できる限り研修に参加し、必要に応じて助言をもらっている。	専門機関とは引き続き連携をし、助言や研修を受けていく。

保護者への説明責任等	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	計画的とは言えないが、個外活動で交流をしたりすることはある。	意図的、意識的に関りをもつようにしていく。
	②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○	なかなか参加に至らないが、機会があれば参加していく。	協議会の情報を得る努力をする。
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	面談、連絡帳、電話等で細やかな対応を図っている。	今後もきめ細やかな提供を心がけていく。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○	必要な助言を行い、対応の仕方を伝え実践してもらっている。その後の状態の把握もしている。事業所等からの情報を得てパンフレット等を保護者に配布している。	研修等の情報を伝え研修参加の機会を提供していく。
	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	契約時、契約更新時に行っている。	保護者のニーズに合わせて、その都度対応していく。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	相談事は必ず受け入れ、面談を通して行っている。緊急時は電話対応もしている。	保護者の訴えを真摯に受け止め、誠意を持って対応をしていく。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	保護者会を開催しても、仕事等でなかなか参加してくれる人は少ないが、協力的である。今年度は3月に開催を計画している。	全員参加を目標に保護者の意向を伺いながら今後も保護者同士の連携を図っていきたい。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	現状苦情の申し出はないが、相談等は適切に対応している。	苦情の際には迅速かつ適切に対応していく。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月配布し、活動を明確化している。連絡帳を活用し、必要に応じて利用日に記載している。	特に大きな行事などは、個別の写真付きの物をプレゼントしている。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	○	職員にも守秘義務について研修を行い、注意している。	職員教育を継続的に行っていく。

	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童への関り方の研修をし、保護者の声を聞きもらさないよう注意している。連絡ノートも活用。	障害の状態に合わせた配慮を心がける。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		地域の文化展に出展するなど、自治会活動に積極的に参加している。	近隣住民の理解が得られるように積極的に関わっていく。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種委員会に保護者の代表にも参加してもらっており、3ヶ月に一度会議を行っている。職員研修を行い、周知している。	必要に応じて見直しをしていく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		職員訓練と児童を含めた訓練を実施している。搬出法も児童に体験させている。より訓練成果を確認するための抜き打ち訓練もしている。	訓練を実施し、突発的な場面でも冷静に対応できるようにしていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年県の研修に参加し、局員での研修を実施している。	マニュアルを定期的に見直し、職員研修を継続的に実施していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在利用中の児童に対象者なし。	研修等を通して意識統一を図り、支援に活かしていく。対象者には支援計画に記載し、保護者の同意を得ていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		医師の指示書の提出はないが、保護者からの申し出を重視し、個別に対応している。	今後も面談時に情報を得ていく。保護者にはアレルギー表で説明していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告・報告書作成後、職員研修を実施し、改善計画を立案している。	検証の実施を継続していく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和 6 年 2 月 29 日

事業所名 放課後等デイサービス という

保護者等数 10（児童数 10）

回収数 10 割合 100 %

		チェック項目	はい	どちら いい いい	いい	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10			ベテランの方からお姉さんもいて、様々な目線で子どもをみてくれていり。	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1			
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	10				
	⑤	活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	10				
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	3		
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10				
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	10			毎回連絡ノートに様子や子どもの変化などの記載があり、励みになる。	

	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	7		保護者会等があっても、仕事等で保護者が集まらない。	保護者間相互の親睦を深めるためにも、参加しやすい保護者会開催を検討していきたいと考えています。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10				
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか	10				
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	1			
	⑭	個人情報に十分注意しているか	10				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。	10				
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	10			頻繁に行っている様子。特に知らせをせずに、抜き打ち的な訓練は、日頃の訓練の成果がみられるとのこと。	
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	10			放課後デイへ通うことを受け入れていない様子だったが、毎回楽しく通ってくれて、安心して送り出している。	学習及び集団活動は無理強いしません。しかし、療育的な活動(訓練)は支援計画に基づいて提供しますので無理のない範囲で提供します。自己決定を大切にしていきます。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	10				

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。